

## 【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成19年12月10日

【事業年度】 第4期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

【会社名】 双日株式会社

【英訳名】 Sojitz Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 加 瀬 豊

【本店の所在の場所】 東京都港区赤坂六丁目1番20号

【電話番号】 03-5520-5000(代表)

【事務連絡者氏名】 主計部長 櫛 引 雅 亮

【最寄りの連絡場所】 東京都港区赤坂六丁目1番20号

【電話番号】 03-5520-5000(代表)

【事務連絡者氏名】 主計部長 櫛 引 雅 亮

【縦覧に供する場所】 双日株式会社名古屋支店  
(名古屋市中区錦一丁目17番13号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社大阪証券取引所  
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成19年6月27日に提出いたしました第4期（自平成18年4月1日至平成19年3月31日）有価証券報告書の記載内容に一部誤りがございましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等

(2) 提出会社の経営指標等

#### 第4 提出会社の状況

##### 3 配当政策

#### 第5 経理の状況

##### 1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(1株当たり情報)

##### 2 財務諸表等

(1) 財務諸表

注記事項

(1株当たり情報)

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

# 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

### 1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等  
(訂正前)

回次	第1期	第2期	第3期	第4期
決算年月	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月
		<中略>		
1株当たり純資産額 (円)	235.43	△1,440.26	△368.95	145.70
1株当たり当期純利益 または当期純損失 (△) (円)	△172.52	△1,876.48	126.21	85.51
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	99.55	53.57
自己資本比率 (%)	10.28	11.45	16.93	18.66
自己資本利益率 (%)	—	—	12.36	12.84
株価収益率 (倍)	—	—	5.51	5.74
		<後略>		

(注) <略>

(訂正後)

回次	第1期	第2期	第3期	第4期
決算年月	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月
		<中略>		
1株当たり純資産額 (円)	235.43	△1,440.26	△368.95	144.22
1株当たり当期純利益 または当期純損失 (△) (円)	△172.52	△1,876.48	126.21	83.20
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	99.55	52.10
自己資本比率 (%)	10.28	11.45	16.93	18.66
自己資本利益率 (%)	—	—	12.36	12.84
株価収益率 (倍)	—	—	5.51	5.90
		<後略>		

(注) <略>

(2) 提出会社の経営指標等

(訂正前)

回次	第1期	第2期	第3期	第4期
決算年月	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月
		<中略>		
1株当たり純資産額 (円)	967.26	△1,439.89	△330.61	110.73
1株当たり配当額 (内、1株当たり 中間配当額) (円)	— (—)	— (—)	— (—)	6.00 (—)
1株当たり当期純利益 または1株当たり 当期純損失 (△) (円)	0.43	△2,561.41	48.55	30.57
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	39.39	19.57
自己資本比率 (%)	93.56	88.52	24.44	23.55
自己資本利益率 (%)	0.02	—	4.65	4.70
株価収益率 (倍)	1,676.00	—	14.34	16.06
配当性向 (%)	—	—	—	19.63
		<後略>		

(注) &lt;略&gt;

(訂正後)

回次	第1期	第2期	第3期	第4期
決算年月	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月
		<中略>		
1株当たり純資産額 (円)	967.26	△1,439.89	△330.61	109.25
1株当たり配当額 (内、1株当たり 中間配当額) (円)	— (—)	— (—)	— (—)	普通株式 6.00 (—) Ⅲ種優先株式 15.00 (—) Ⅴ種優先株式 143.76 (—)
1株当たり当期純利益 または1株当たり 当期純損失 (△) (円)	0.43	△2,561.41	48.55	28.26
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	39.39	18.11
自己資本比率 (%)	93.56	88.52	24.44	23.55
自己資本利益率 (%)	0.02	—	4.65	4.70
株価収益率 (倍)	1,676.00	—	14.34	17.37
配当性向 (%)	—	—	—	21.23
		<後略>		

(注) <略>

## 第4 【提出会社の状況】

### 3 【配当政策】

(訂正前)

当社は、かねてより、平成18年度決算における復配を目標としておりましたが、中期経営計画「New Stage 2008」の初年度が当初の利益計画を上方修正の上、達成したことにより、継続的な配当を行う財務基盤・収益基盤が整ったと判断し、当期において期末配当を行います。

当期の普通株式の年間配当につきましては、安定的かつ継続的な配当を実現するための第一歩と位置付け、普通株式1株当たりの配当金額を6円とさせて頂きました。この配当金額に対する普通株式に対する連結配当性向は、当期末の発行済株式数を基とした場合には10.9%となり、また当期の発行済普通株式の平均株数を基とした場合に7.0%となります。

<後 略>

(訂正後)

当社は、かねてより、平成18年度決算における復配を目標としておりましたが、中期経営計画「New Stage 2008」の初年度が当初の利益計画を上方修正の上、達成したことにより、継続的な配当を行う財務基盤・収益基盤が整ったと判断し、当期において期末配当を行います。

当期の普通株式の年間配当につきましては、安定的かつ継続的な配当を実現するための第一歩と位置付け、普通株式1株当たりの配当金額を6円とさせて頂きました。この配当金額に対する普通株式に対する連結配当性向は、当期末の発行済株式数を基とした場合には11.2%となり、また当期の発行済普通株式の平均株数を基とした場合に7.2%となります。

<後 略>

## 第5 【経理の状況】

### 1 【連結財務諸表等】

#### (1) 【連結財務諸表】

注記事項

(1株当たり情報)

(訂正前)

前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
--	--

1株当たり純資産額	△368円95銭	1株当たり純資産額	145円70銭
1株当たり当期純利益	126円21銭	1株当たり当期純利益	85円51銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	99円55銭	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	53円57銭

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	当連結会計年度 (平成19年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の 合計額(百万円)	—	531,635
普通株式に係る純資産額(百万円)	—	155,586
差額の主な内訳(百万円)		
少数株主持分	—	43,048
優先株式に係る払込金額	—	333,000
普通株式の発行済株式数(千株)	—	1,068,105
普通株式の自己株式数(千株)	—	253
1株当たり純資産額の算定に用い られた普通株式の数(千株)	—	1,067,852

2 1株当たり当期純利益並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(百万円)	43,706	58,766
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
利益処分による役員賞与金	14	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	43,691	58,766
普通株式の期中平均株式数(千株)	346,172	687,273
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額		
子会社又は関連会社の発行する潜 在株式に係る調整額(百万円)	1,214	1,251
普通株式増加数(千株)	80,515	386,343
うち転換社債型新株予約権付 社債(千株)	22,602	374,598
うち優先株式(千株)	57,912	11,745
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	第二回I種、第三回I種、第四回 I種、第一回II種、第一回IV種、 第一回V種及び第二回V種優先株 式 これらの詳細については、「第4 提出会社の状況 1株式等の状況 (1)株式の総数等」に記載のとおり であります。	第二回I種、第三回I種、第四回 I種、第一回II種、第一回IV種、 第一回V種及び第二回V種優先株 式 これらの詳細については、「第4 提出会社の状況 1株式等の状況 (1)株式の総数等」に記載のとおり であります。

(訂正後)

前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
1株当たり純資産額	△368円95銭
1株当たり純資産額	144円22銭

1株当たり当期純利益	126円21銭	1株当たり当期純利益	83円20銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	99円55銭	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	52円10銭

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	当連結会計年度 (平成19年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の 合計額(百万円)	—	531,635
普通株式に係る純資産額(百万円)	—	154,000
差額の主な内訳(百万円)		
少数株主持分	—	43,048
優先株式に係る払込金額	—	333,000
優先配当額	—	1,585
普通株式の発行済株式数(千株)	—	1,068,105
普通株式の自己株式数(千株)	—	253
1株当たり純資産額の算定に用い られた普通株式の数(千株)	—	1,067,852

2 1株当たり当期純利益並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(百万円)	43,706	58,766
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
利益処分による役員賞与金	△14	—
優先配当額	—	△1,585
普通株式に係る当期純利益(百万円)	43,691	57,180
普通株式の期中平均株式数(千株)	346,172	687,273
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額		
子会社又は関連会社の発行する潜 在株式に係る調整額(百万円)	△1,214	△1,271
優先配当額(百万円)	—	22
普通株式増加数(千株)	80,515	386,343
うち転換社債型新株予約権付 社債(千株)	22,602	374,598
うち優先株式(千株)	57,912	11,745
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	第二回I種、第三回I種、第四回 I種、第一回II種、第一回IV種、 第一回V種及び第二回V種優先株 式 これらの詳細については、「第4 提出会社の状況 1株式等の状況 (1)株式の総数等」に記載のとおり であります。	第二回I種、第三回I種、第四回 I種、第一回II種、第一回IV種、 第一回V種及び第二回V種優先株 式 これらの詳細については、「第4 提出会社の状況 1株式等の状況 (1)株式の総数等」に記載のとおり であります。

2 【財務諸表等】

## (1) 【財務諸表】

## 注記事項

## (1株当たり情報)

(訂正前)

前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		当事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
1株当たり純資産額	△330円61銭	1株当たり純資産額	110円73銭
1株当たり当期純利益	48円55銭	1株当たり当期純利益	30円57銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	39円39銭	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	19円57銭

(注) 算定上の基礎

## 1 1株当たり純資産額

	前事業年度 (平成18年3月31日)	当事業年度 (平成19年3月31日)
貸借対照表の純資産の部の 合計額(百万円)	—	451,254
普通株式に係る純資産額(百万円)	—	118,254
差額の主な内訳(百万円)		
優先株式に係る払込金額	—	333,000
普通株式の発行済株式数(千株)	—	1,068,105
普通株式の自己株式数(千株)	—	190
1株当たり純資産額の算定に用い られた普通株式の数(千株)	—	1,067,914

## 2 1株当たり当期純利益並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益

	前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(百万円)	16,808	21,010
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	16,808	21,010
普通株式の期中平均株式数(千株)	346,230	687,335
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額	—	—
普通株式増加数(千株)	80,515	386,343
うち転換社債型新株予約権付 社債(千株)	22,602	374,598
うち優先株式(千株)	57,912	11,745
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	第二回I種、第三回I種、第四回 I種、第一回II種、第一回IV種、 第一回V種及び第二回V種優先株 式 これらの詳細については、「第4 提出会社の状況 1株式等の状況 (1)株式の総数等」に記載のとおり であります。	第二回I種、第三回I種、第四回 I種、第一回II種、第一回IV種、 第一回V種及び第二回V種優先株 式 これらの詳細については、「第4 提出会社の状況 1株式等の状況 (1)株式の総数等」に記載のとおり であります。



(訂正後)

前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		当事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
1株当たり純資産額	△330円61銭	1株当たり純資産額	109円25銭
1株当たり当期純利益	48円55銭	1株当たり当期純利益	28円26銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	39円39銭	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	18円11銭

(注) 算定上の基礎

## 1 1株当たり純資産額

	前事業年度 (平成18年3月31日)	当事業年度 (平成19年3月31日)
貸借対照表の純資産の部の 合計額(百万円)	—	451,254
普通株式に係る純資産額(百万円)	—	116,669
差額の主な内訳(百万円)		
優先株式に係る払込金額	—	333,000
優先配当額	—	1,585
普通株式の発行済株式数(千株)	—	1,068,105
普通株式の自己株式数(千株)	—	190
1株当たり純資産額の算定に用い られた普通株式の数(千株)	—	1,067,914

## 2 1株当たり当期純利益並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益

	前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(百万円)	16,808	21,010
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
優先配当額	—	△1,585
普通株式に係る当期純利益(百万円)	16,808	19,424
普通株式の期中平均株式数(千株)	346,230	687,335
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額		
優先配当額(百万円)	—	22
普通株式増加数(千株)	80,515	386,343
うち転換社債型新株予約権付 社債(千株)	22,602	374,598
うち優先株式(千株)	57,912	11,745
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	第二回I種、第三回I種、第四回 I種、第一回II種、第一回IV種、 第一回V種及び第二回V種優先株 式 これらの詳細については、「第4 提出会社の状況 1株式等の状況 (1)株式の総数等」に記載のとおり であります。	第二回I種、第三回I種、第四回 I種、第一回II種、第一回IV種、 第一回V種及び第二回V種優先株 式 これらの詳細については、「第4 提出会社の状況 1株式等の状況 (1)株式の総数等」に記載のとおり であります。